

科目名称(Course Title)				担当教員(Instructor)	
政治学				富野 暉一郎	
開講学期 (Semester)	単位数 (Credits)	履修年次 (Requirement)	授業形態 (Class Type)	受講定員の有無 (Maximum Enrollment)	授業公開 (Workshop Class)
前学期	2単位	1年次	講義	無	科目等履修・聴講
授業の概要(Course Description)					
<p>この講義は政治学の入門編です。私たちは毎日様々な政治に関する報道に接しています。でもいったい政治とは何なのでしょう。社会にとってなくてはならない政治ですが、私たちはその重要性について十分な認識を持っていないように見えます。この講義では、社会で起きている政治現象を参考にしながら、現代社会における政治の役割を、民主主義という政治システムを中心に考察します。講義の内容は、実際に社会で起きている現象や事件などを事例に取り入れながら、第二次世界大戦後の政治の対象の変遷、選挙と政治権力、直接民主主義と間接民主主義、権力の分立、政党政治の意義、地方自治、政治参加の諸形態、などを含めるものとなります。</p>					
授業の到達目標(Course Objectives)					
<p>①現代社会における政治の役割について基礎的な知識を得る。 ②国民主権、市民権の意味と成立過程を理解する。 ③市民の政治参加と民主主義の関係を理解する。 ④地方議員との直接対話を通じて、地方議員の社会的役割を再認識する。</p>					
授業計画(Course Schedule)					
第 1 回	イントロダクション (この講義で学ぶこと)				
第 2 回	さまざまな政治形態、さまざまな政治のレベル				
第 3 回	第二次世界大戦後の日本の政治課題				
第 4 回	国家主権と国際社会				
第 5 回	国家主権と国民主権				
第 6 回	権力の抑制 (憲法、三権分立、世論)				
第 7 回	議院内閣制と大統領制				
第 8 回	日本の地方政治の特徴				
第 9 回	政党政治と市民社会				
第 10 回	民主主義におけるリーダーシップ				
第 11 回	政治と情報社会				
第 12 回	グループ討議I				
第 13 回	市長との対話				
第 14 回	グループ討論II				
第 15 回	人口減少時代における政治の役割				
授業時間外学習(Supplementary Activities)					
<p>①次回の講義で学ぶテーマについて、指定された文献・資料等を読み込んでおくことを求めます。(レポート提出を求めることがある) ②グループ討議及び市長との対話については、グループで役割分担を決めて事前学習をします。</p>					

成績評価の方法と基準(Grading)	
評価方法 (割合)	評価基準
期末試験 (70%) レポート (3回) (30%)	期末試験とレポートについては、①論点が明確に捉えられているか ②講義の内容に即しているか、③論旨に一貫性があるか、の3点について評価します。また自主的な学習の成果を盛り込んでいると認められるものについては、期末試験で10点以内、レポート3本の合計点に5点以内を加点します。
テキスト (Textbook)	【書名】 【著者】 【出版社】 【出版年】
参考書・資料等 (Supplementary Reading)	『始めて学ぶ政治学』岡崎清輝・木村俊道編 ミネルヴァ書房 2014
備考 (Other Information)	3分の1以上 (6日以上) の欠席は、単位不可とする。
教員との連絡方法 (Contact With Instructor)	初回の講義で連絡方法を指示します。